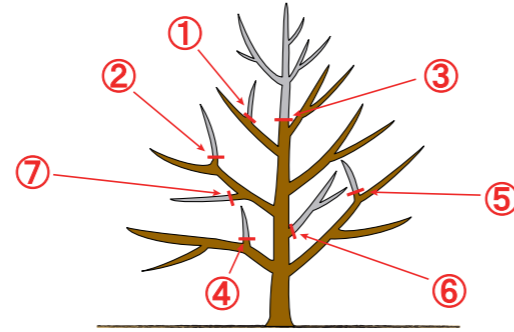


# 果樹の剪定(カキ) 2月の農作業

# 果樹の剪定(クリ) 2月の農作業

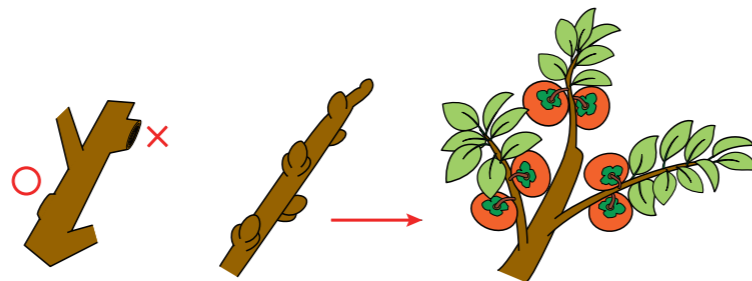
## 1. 剪定をする枝

- ①弱い枝  
充実した実が付かないので切り取る。
- ②ハサミ状の枝  
1本の枝の先端が2～3本に分かれてハサミのような形になっている部分は、充実した芽のある枝を残して他の枝は切り取る。
- ③先端の剪定  
先端を切ることで樹全体の日当たりが良くなる。
- ④徒長枝  
上向きに伸びる枝は、樹形のバランスを悪くするので切り取る。
- ⑤内向き枝  
樹の内側に向かって伸びる枝は、日当たりと風通しを悪くする原因となるので切り取る。
- ⑥平行している枝  
平行して伸びているので、一方の基から切り取る。重なり合った枝も一方は切り取る。
- ⑦下向き枝  
枝の影になり、充実した実が付かないので切り取る。



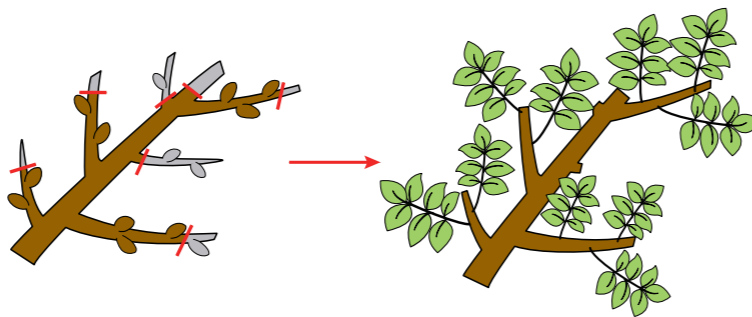
## 2. 冬剪定のポイント

- ◆切り取る枝はできるだけ幹に沿って切る  
• 枝が残っていると、コブや枯れ込んでしまうので幹に沿って切り取る。
- ◆充実した芽を残す  
• 先端がふっくらとしている芽を残し剪定をする。



## 3. 実をつける枝の剪定

- ◆充実した枝を残し剪定  
• 実をならせない枝と結果枝を2本程度残し、他の枝は取り除く。  
• 充実した芽がある枝を残すが、あまり近くの枝や同じ方向に伸びる枝は避け、枝が重なり合わないよう剪定を行う。
- ◆内側に向かう枝を切る  
• 樹の内側に向かって伸びる枝を切る。  
残す枝を決めたら、その枝以外は切り除く。
- ◆結果枝の先端を切る  
• 外側に向いて出ている芽の上で切り取る。



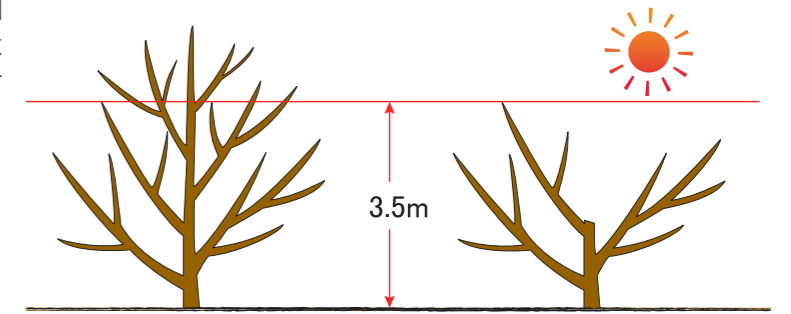
裏面は果樹の剪定(クリ)を掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.298 平成28年2月17日発行

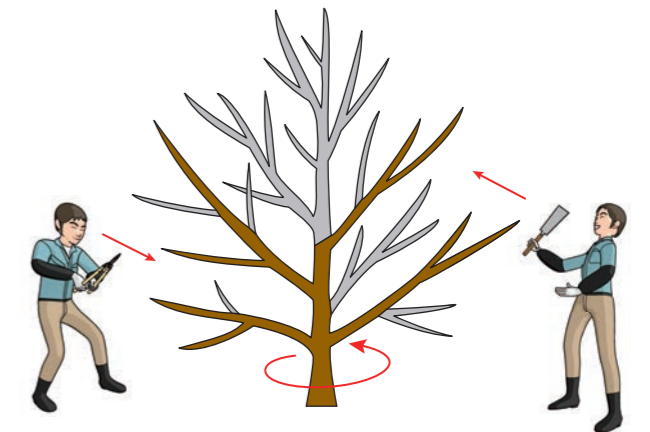
## 1. 樹高制限

- ◆クリの一般的樹高は、3.5mを目安として剪定を行う  
• 先端が3.5mより高い枝はすべて間引く。残った結果母枝は、剪定した枝より勢いが弱いので、日当たりを良くすることで良い結果枝が発生する。



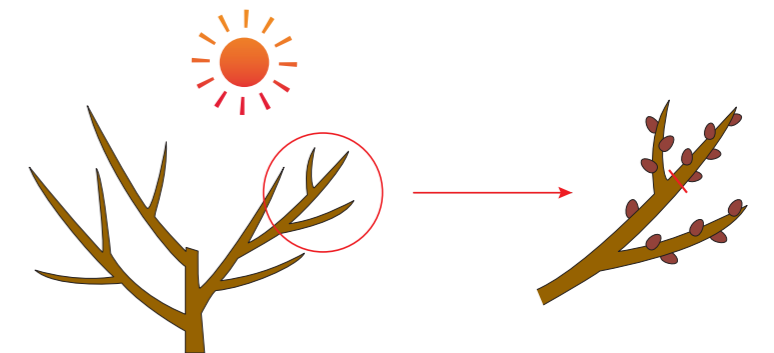
## 2. 粗剪定

- ◆ノコギリあるいは剪定バサミを利用し大きな枝、太い枝を間引く  
• 太い枝を間引くことで大きな空間ができ日当たりを改善、良い結果枝が確保できる。  
• 残す枝は、樹の下部の枝を優先し、日当たりを悪くしている上部の枝は間引く。  
• 粗剪定の手順としては、下から上へ樹を一周しながら行う。



## 3. 仕上げ剪定

- ◆2～3年生側枝、結果母枝の間引きを行い、粗剪定がしっかりとできていれば切る枝が少なくなる  
• 間引くべき枝は残す枝の日当たりが良くなるように、枝の方向と間隔を決める。  
• 太く充実した結果母枝であっても下枝の日当たりを悪くしていれば間引く。  
• 優良な結果母枝1本に3～5本の結果枝が出るので、結果母枝同士の間隔を十分取るように剪定を行う。



裏面は果樹の剪定(カキ)を掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.298 平成28年2月17日発行